

卒業生は

谷の百合幼稚園(広島市) 渡邊 丈子 23期生

文教を卒業して1年が経ちました。気がつけば、私も保育者として2回目の季節を走り出しています。私は今、南区にある「谷の百合幼稚園」で年中22名の子どもの担任として働いています。1年目は、右も左も分からず、ただがむしゃらに毎日過ごしていました。「子どもって?」「先生って?」いつも自分に問い掛けながらの保育。悩みはいつも尽きることはなく、涙を流す日も少なくはありませんでした。その時、いつも心の中にあっただけは大学で過ごした4年間、先生方や友達でした。温かく見守り、声を掛けてくださった先生方。私を励ましてくれた友達。そして、初めて受け持った子どもたちの笑顔。「先生!」と呼ばれる幸せを何度感じたことでしょうか。「先生、大好き!」と言ってくれる子どもたちの存在が、疲れも涙も忘れさせてくれました。

2年目を迎え、新しく出会った子どもたちとの生活がスタートしました。子どもたちにパワーをもらいながら「先生」という仕事の大切さ、重要さを噛みしめています。「集団」としてだけではなく、一人ひとりの関わりの中で、その子の個性や魅力を見つけていける毎日は、とても楽しくて仕方ありません。「かわいいなあ」と独り言を言っている自分に気がついた時、素敵な先生方に囲まれて笑顔で過ごせることを思うと「先生になってよかった!」と心から思うのです。

子どもたちも自分の思い、友達の思いと、それぞれたくさんの思いを抱えて心の中で葛藤していると思います。そういう時、ギュッと抱きしめてあげると、子どもの思いがあふれ出て来るのを実感していますので、「一人ひとりの思いを汲みとり大切に」と日々心に留めています。22人、22の色があり、その色がより輝くように、保育者自身もより輝けるように、日々の学びを大切にしていきたいと思っています。

「保育は一人でするんじゃない。チームでするもの。」先輩の先生に言われた一言です。文教には、その仲間がいます。一日一日を大切に、仲間と充実した日々を過ごしてくださいね。

私も、「チーム文教」として、同じ空の下、明日からもしっかり歩いていこうと思います。



記念の年、記念号に寄せて

巻頭言

「ご承知のように、今年には、学園創立六十周年という、大変おめでたい年です。本学会の機関紙「初教かわらばん」も一〇号の節目を迎え、ここにお届けすることができました。皆様とともに、喜びを分かち合いたいと思います。さて、今回は、目前を変え、他の学会の会報をお伝えしたいと考えました。私事になりますが、所属学会の一つであるところの、全国大学国語教育学会についてお話しします。国語科教育に関する理論と実践を研究する学会です。年に二回開催され、今年度の二回目は、先日ありました。五月三十一日(土)から六月一日(日)にかけて、茨城大学を会場として行われました。細かいことにはなっていますが、自由研究発表は十本聞き、一つのパネルディスカッションに参加し、課題研究発表を四本聞きました。特に、専門とする作文・綴り方教育史の分科会では、啓発されるものが多く、自身の研究にもプラスとなりました。



学会長(学科長) 岡 利道

さて、恒例となる夜の学会レセプション(懇親会)も、とても印象に残りました。そこで、詩人であり、地元(茨城県)で中学校の教員として勤務しておられる小泉周二さんの弾き語りを聴くことができたからです。小泉さんの詩は小学校の国語教科書にも採用されており(例「あなたへ」)、また、シンガー&ソングライターとしても活動されています。ご自身の詩に歌をつけて教室やイベントで披露されたり、「誕生日」という自主制作CDも出されたりして、大活躍の日々です。二〇〇〇年のNHK全国学校音楽コンクール小学校の部・課題曲の詩に小泉さんの「大すき」が選ばれましたから、「ああ、あの歌か。」と思いがたつ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。実は、小泉さんは目が不自由ですから、困られることもさぞや沢山あることでしょう。しかし、屈託がないような表情で、ちよんちよん「裸の大将」の山下清さんのように、朴訥とした、ぬくもりの感じられる人物でした。詩のイメージ、お写真のイメージどおりでした。ゆっくりと、噛み締めるように語られるのです。そして、一語音がよく聞こえるように歌われました。何と、アンコールまでありました。詩の音読の楽しさ、詩にちよんちよんをつけて口ずさむ楽しさなど、体感させてもらいました。わが国の小学校の国語教科書も、やっぱり素晴らしいな、と思った瞬間でした。最後になりましたが、本学会の恒例となっております「秋の研究発表大会」のご案内を申し上げます。今年度は、10月22日(土)午後に行われます。小泉さんに引けを取らない講演者や発表者をお招きします。詳しくは、学会ホームページ、ダイレクトメールでお知らせすることになります。今からご予定に入れていただきますよう、よろしくお願いたします。多数のご参加をお待ちしております!



ゼミ紹介 情報教育コース

こんにちは! 情報教育コースです☆ オリジナルカラーあふれるパワフルな私たちのゼミについてご紹介いたします(人々)☆ 私たちは2年次からいろんなソフトを体験したり、作品を作ったりします。3年次からは、山野草をこよなく愛する熱いハート♡の新枝ゼミ(´u´)とユニークな会話が空中を飛び交う吉田ゼミ(@u@)に分かれます。新枝ゼミでは、ソフト開発中心の卒論を目指し、吉田ゼミでは、いろいろなソフトを用いたり、メディアや情報の未来を探ったりします。食べること、しゃべること、キーボードを打つこと!が大好きで好奇心旺盛な私たちに世代の壁・学年の壁はありません。ぜひ、夢とそれを実現する技のあふれた2号館5階ゼミ室へ☆☆



あの先生は 今

山下先生にインタビュー

現在、本学非常勤講師の山下美佐子先生に、プライベートなことをインタビューさせていただきました。最近、車椅子ダンスをなさっているとお聞きし、まずはその話題に焦点を当ててみました。



インタビューー 3年 上野 由加 土江 典子 弥武 留美

AQ クロアチアかな。都会じゃなくて自然がキレイなところが好きなんです。今まで行った国でよかった国はありますか?
AQAQ やつぱりスイスやイタリアかな。おもろいのはアジアかな。アメリカももつ度行きたいし、砂漠にも行きたいですね。1年に旅行は2回ほど、近場と海外に行きたいなという希望があります。
AQ 最後に、文教生に伝えたいことがあればお願いします。
 楽しく、一生懸命生きてほしいです。でも一生懸命になりすぎるのもいけない。くたびれないような生懸命さでね。楽しくない一生懸命になれないから。いろんなことに挑戦して、精一杯やってみてほしい。そして失敗してもひきすらないで前向きに生きてほしいです。人生を楽しんで下さい。

